

2020年度 長野県岡谷東高等学校シラバス

教科	芸術	科目	美術Ⅰ	単位数	2	学年	1	コース	教養フロンティア 健康スポーツ
								必修・選択	必修（芸術選択）
使用教材	教科書	高校生の美術Ⅰ（日本文教出版）							
	副教材	課題毎のプリント、筆記用具、アクリルガッシュセット（教材費で購入） など その他課題毎に指示							

学習目標

創作活動を通して美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てる。また感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化について理解を深める。基礎力をつける。

学習方法

- ・鉛筆の削り方、鉛筆の使い方、鉛筆の基礎的な表現方法を学ぶ。
- ・アクリルガッシュの特性、使い方、基礎的な表現方法を学ぶ。
- ・立体造形の基礎を学ぶ。

学習評価

○次の四つの観点に基づき、学習内容のまとまりごとに下の評価マトリクスにより評価を行い学年末に5段階の評定に総括します。

①関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> ・毎時間制作に打ち込んでいるか。 ・最後まで諦めずに作品の完成度を高めているか。 ・技術を身につける努力。
②思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・課題テーマに対し、自己表現を探究しているか。 ・参考資料の活用を含む。
③技能	<ul style="list-style-type: none"> ・創造的な技能や工夫
④知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> ・作品を鑑賞し考察、探究する能力。 ・課題テーマに対しての資料集め、自己表現を探究する能力。

評価方法\観点	評価の観点				備考
	①	②	③	④	
課題の取り組み方	◎	◎	○	○	
各課題提出	○	◎	◎	○	
作品の完成度	◎	◎	◎	○	

※表中の◎は観点の中でより重視するポイントです

※それぞれの評価の観点はA、B、Cの三段階で評価します。

学習方法等のアドバイスなど

自分が持っている感性を信じ、向上心を持って制作する。
失敗を恐れないで、諦めず制作すること。
ただ手を動かす作業としてではなく、考えながら表現活動をする制作活動として授業に取り組むこと。
作品のうまい下手ではなく、基礎的な学習を通して、しっかりと知識、技能を身に付け辛抱強くコツコツ「ていねい」に進めることが大切。

年間学習計画

学期 時間数	学習内容	学習のねらい	学習活動 【評価方法】
1 学期 22単位時間	<p>◆オリエンテーション</p> <p>◆鉛筆デッサン</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鉛筆の使い方 ・ハーフトーンの作り方 ・形の取り方 ・デッサン「手」 <p>◆色彩について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アクリルガッシュの使い方 ・色の三原色・光の三原色について ・色相環と配色について ・グラデーション作り <p>◆色彩について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アクリルガッシュの使い方 ・色の三原色・光の三原色について ・色相環と配色について ・グラデーション作り 	<p>自己表現のための作品制作において、基礎的な常識や技術を学ぶ。</p> <p>色彩についての理解を深める。</p> <p>絵具で多色を作る経験を積むことで、混色の基礎的な力を身につける。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・評価や課題についての説明 ・著作権や知的財産権について ・「手」をモチーフにして自己表現する。 ・鉛筆デッサンを行うための基礎を学び、作品完成させていく。 ・アクリルガッシュを使い混色し様々な色をつくる。 <p>【評価方法】</p> <p>制作への取り組みや完成した作品を四つの観点に基づき評価する。</p>
2 学期 30単位時間	<p>◆絵画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多様な表現を知る(鑑賞) ・スケッチ ・下絵 ・着彩 ・額づくり ・展示・鑑賞 	<p>自分が選んだ風景をモチーフに描くことで、自分のフィルターを通して見える風景をアクリルガッシュを用いて表現する。色の作り方、アクリルガッシュの様々な表現方法を習得する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の好きな風景や場所、時間が表現できる資料をもとに絵画で表現する。 ・写実表現にとられず、アクリルガッシュで多様な表現方法を学び、幾重にも色を重ねることを楽しみながら制作する。 ・展示し、お互いの作品を鑑賞して感想を寄せあい、他者理解と自己評価を高める。 <p>【評価方法】</p> <p>制作への取り組みや完成した作品を四つの観点に基づき評価する。</p>
3 学期 18単位時間	<p>◆彫塑「土偶作り」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作品鑑賞 ・アイディアスケッチ ・制作 ・作品を楽しむ <p>◆デザイン</p> <ul style="list-style-type: none"> ・著作権と制作活動 ・作品鑑賞 ・アイディアスケッチ <p>◆ふりかえり</p>	<p>彫塑用粘土を用いて制作する。</p> <p>平面的な物の形、立体的な物の形のそれぞれの形のとらえ方の違いを考え制作する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・長野県の国宝である縄文のビーナスや仮面の女神などを鑑賞し土偶について学ぶ。 ・オリジナルの土偶をデザインする。 ・それぞれの作品を互いに楽しむことで用の美を追求する工芸分野に触れる。 ・文化祭ポスターを想定したアイディアをスケッチする。 <p>【評価方法】</p> <p>制作への取り組みや完成した作品を四つの観点に基づき評価する。</p>